



『放射能の時代』 林 保明





毎日信じられないようなニュースを聞く。川崎市が福島からのごみを受け入れて処分する事を発表したら、抗議のメールが2000通来たと言う。船橋市では放射能がうつると言って子供がいじめにあったそうだ。頭が薄くなった人達(?)には住みにくい世の中になってきたのではないだろうか？

僕が子供の頃、核実験が盛んに行なわれていた。アメリカはビキニ環礁(ここで第五福竜丸が死の灰により被爆した)。ソ連はノヴァヤゼムリヤ島、その名前を僕は今でもはっきり覚えている。50年くらい前の話だ。

雨が降ると、子供たちは「放射脳で頭が禿げるぞ〜!」と言って駆け出したものだ。放射能と核実験のニュースを毎日のように聞いていた気がする。またそう言う時代になって行くのだろうか…？

僕自身にも信じられない事が起きた。前回の健康診断から1年以上経ったので、かかりつけの病院へ持病の薬を貰いに行くついでに、生活習慣病健診の申し込みをした。

僕は、胃の検査はレントゲンで済ませたかったのだけれど、先生が胃カメラを勧めたので、しぶしぶ鼻から入れる、細いファイバースコープの検査にしてもらった。

手続きに看護婦さんのところに行くと、「胃カメラはクジになります!」と言ったので、僕は(え〜、地震の影響でいよいよ、そんなものまで抽選になったか!?)と思い、思わず「クジ引くんですか?」と言ってしまった。

「久地(クジ)の診療所に鼻から入れる機械があるのです。」(南武線、久地駅の近くだった!)

次に、「胃カメラ撮るんなら、死の肝炎検診って受けられたことありますか?」「え?」「死の肝炎検診が無料で受けられるけど、どうですか?」「え〜?」(良く分からないけど無料なら良いか…、でもタダより怖いものは無いって言うな…?)

「うーん…、じゃお願いします!」と覚悟を決めて言った時点で、『川崎市(シ)の肝炎検診』である事が判明し、すぐに血を採られた。

普通ならこんな勘違いが続くことはあり得ないのだけれど、このところのニュースに洗脳されているせいか、僕は頭がボケたとは思わず、時代を先取りしていると思った。

どうもこの騒ぎ、あと100年は続くような気がする。

